

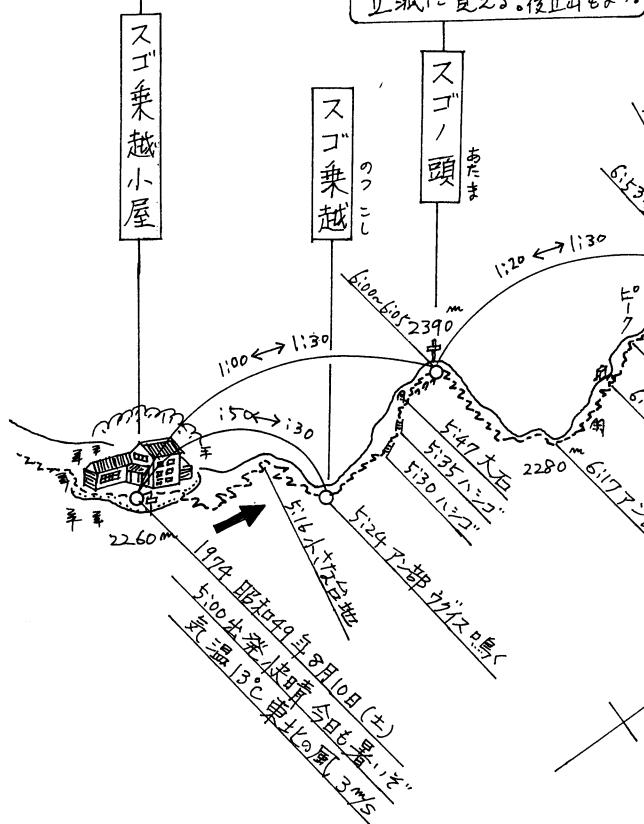
帰り

1974 昭和49年8月10日(土)

室堂バスターミナル発 13:05 → むろどう号に接続
立山駅発 14:55 → 名古屋 21:07 着

さわやかな朝の風、
ウグイスの鳥声に迎
えられて元気に小屋
を出る。スゴの尖った
頭が高く見える。
今日も快晴、暑くなさ

スゴの登りはきつかった。
まだ起きたてで調子も出
ないが、疲労もある。
もう秋の虫の声がするなあ
小屋も小さく見え、薬師岳
が一段と朝陽に輝いて
立派に見える。後立山もよい。



第1日 8月8日(木) 快晴

徒歩正味時間 7時間26分
途中の休息昼食時間 2時間31分

コースタイム10時間40分に対し
7時間26分は、69%で歩いたことになる。

第2日 8月9日(金) 快晴

— 8時間32分
— 1時間45分

コースタイム14時間に対し
8時間32分は 61%で歩く

第3日 8月10日(土) 快晴

— 6時間38分
— 1時間22分

コースタイム11時間40分に対し
6時間38分は 56%で歩く

費用 (国鉄は除外)

高山～新穂高バス	1,000円
小屋宿泊代	2,400×2=4,800
室堂～立山バス代	960
立山～富山 特急代	80
スゴ小屋水1㍑	50

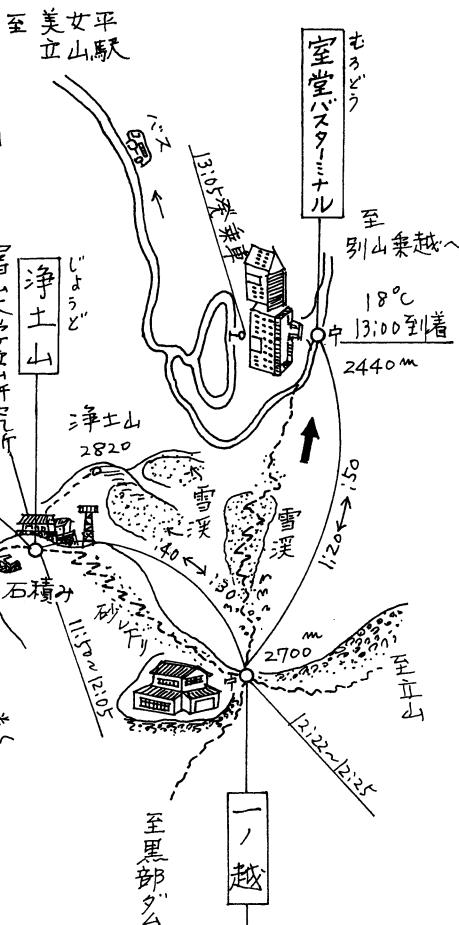
計 6,890円/人

今日は土曜日で、アルペニルートの魅力と、立山登山で大賑わった。また天気もよいし、善男善女の大君羊が、室堂から立山頂上まで来ている。
ソロのよ長、縦走も終りて、一の越が最後の下りだ。10分も下った雪渓では、子供たちが珍らしい雪をつかんでは、喜んでいた。おしゃべりしているのも嬉しい風景である。

鷲山頂上から緩やかな斜面が五色が原に広がり、実に広大で、びやかな眺望である。
2つの山荘が美しく並び、緑の中の楽園である。花畠もさぞや美しいであろう。だが、ザラ山岳の上部は厳しい、登りが待っている。「皆さんあれを登るのかなあ」という。

いよいよザラ山岳からの厳しい登りだ。ジグザグ切った斜面、石碎石混りの急坂を汗を流しながら休まずの苦斗が続く。常原夏寺川の荒れた源流、黒部湖のエメラルド色、対称的な山の景色をチラチラ見ながら、思ったより早く登頂だ。

竜王は岩骨隆々の山だ。岩峰の懷に登りついで左へ回り込んで西側に出で淨土山分歧へ。



立山登山で大賑わった。また天気もよいし、善男善女の大君羊が、室堂から立山頂上まで来ている。

ソロのよ長、縦走も終りて、一の越が最後の下りだ。10分も下った雪渓では、子供たちが珍らしい雪をつかんでは、喜んでいた。おしゃべりしているのも嬉しい風景である。